

2008信越大会(3.5MHz)での 私の判断と行動

2008年6月22日(日)
於 新潟県新発田市

安島 巧



初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

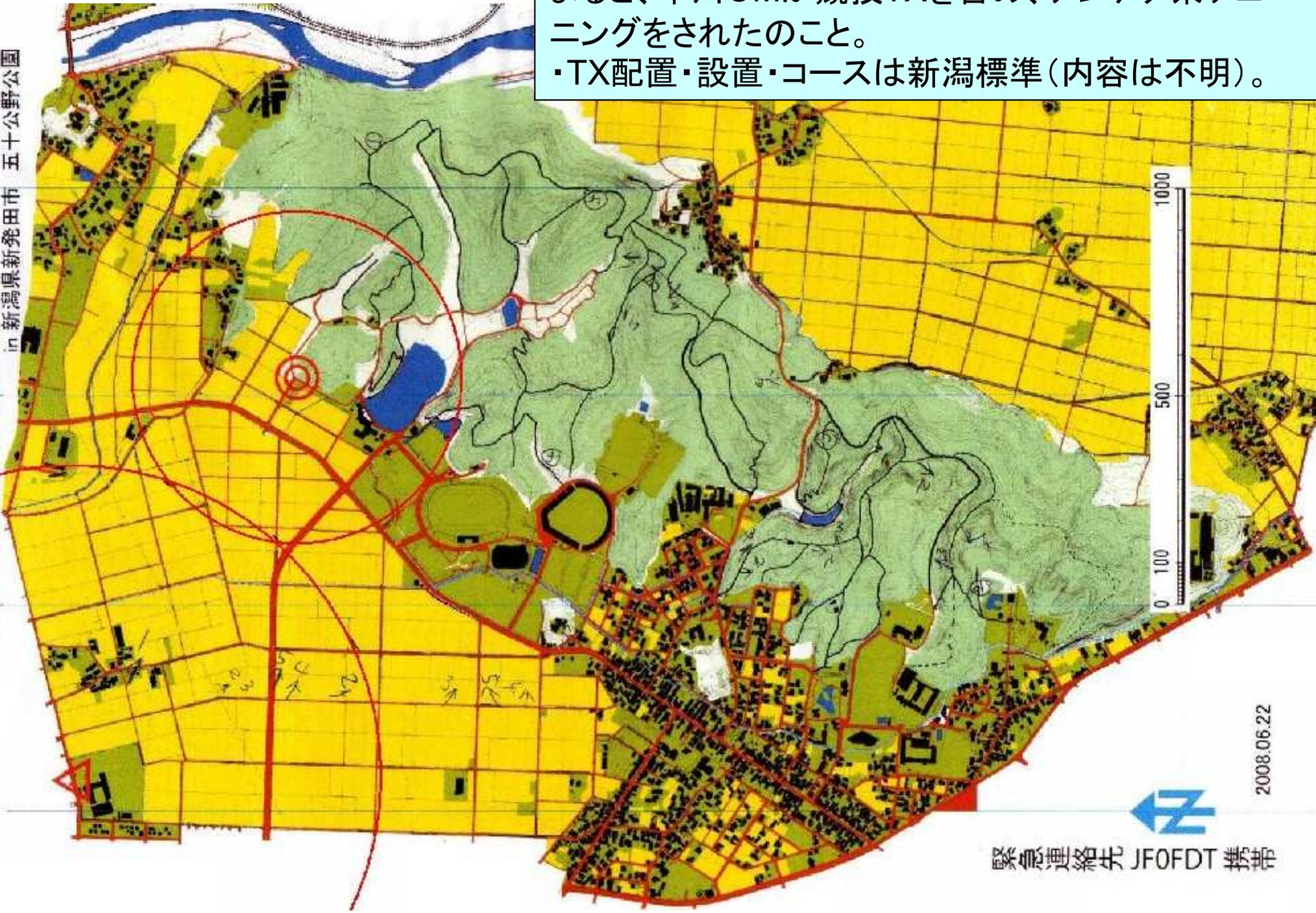
あなたならどう攻めますか？

スタート前情報：

- ・集合場所での試験電波が極めて強力。聞くとところによると、早川OMが競技TXを含め、アンテナ系チューニングをされたのこと。
- ・TX配置・設置・コースは新潟標準(内容は不明)。

2008ARDF信越地方競技大会

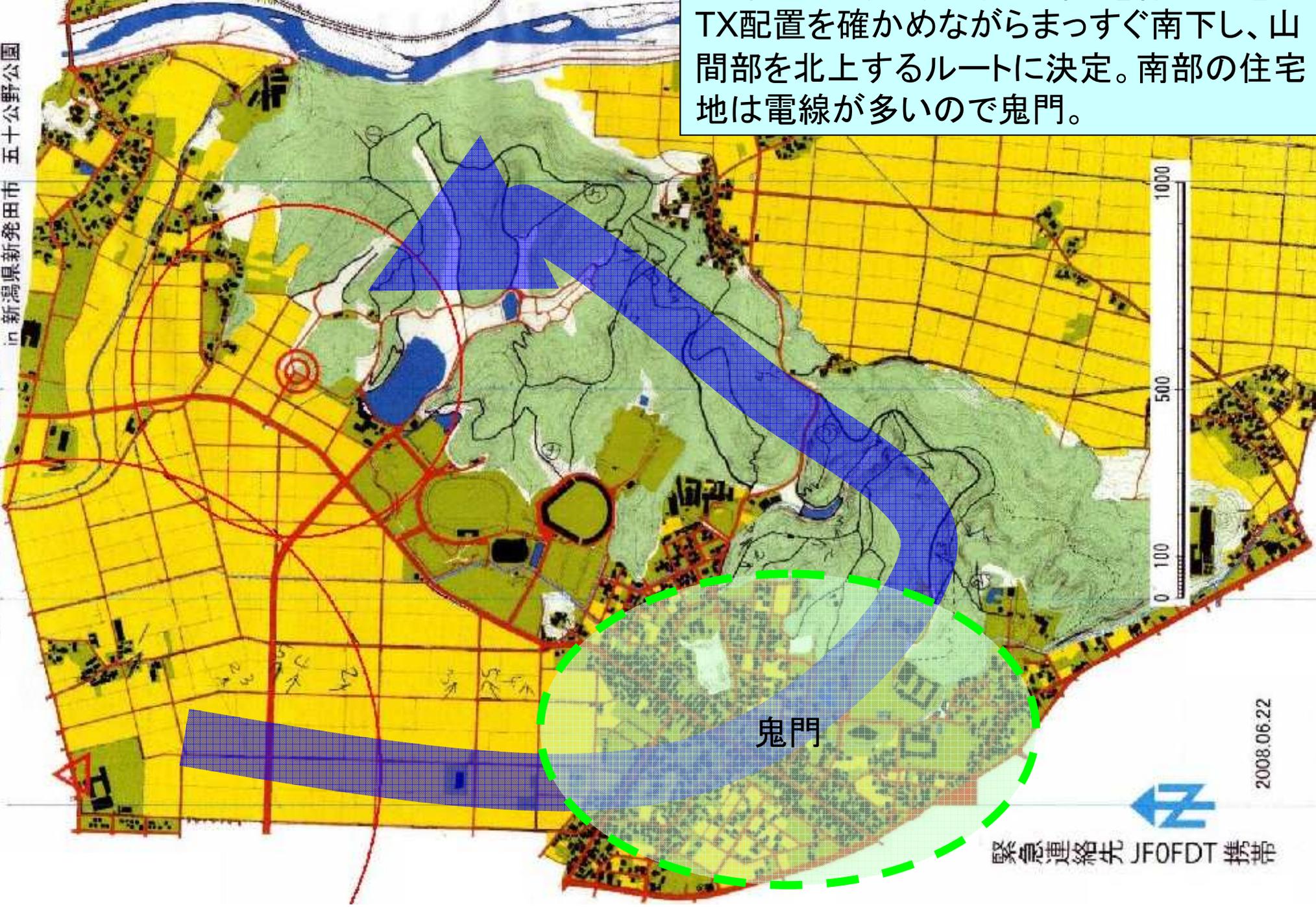
in 新潟県新発田市 五十公野公園



2008.06.22

緊急連絡先 JF0FDT 携帯

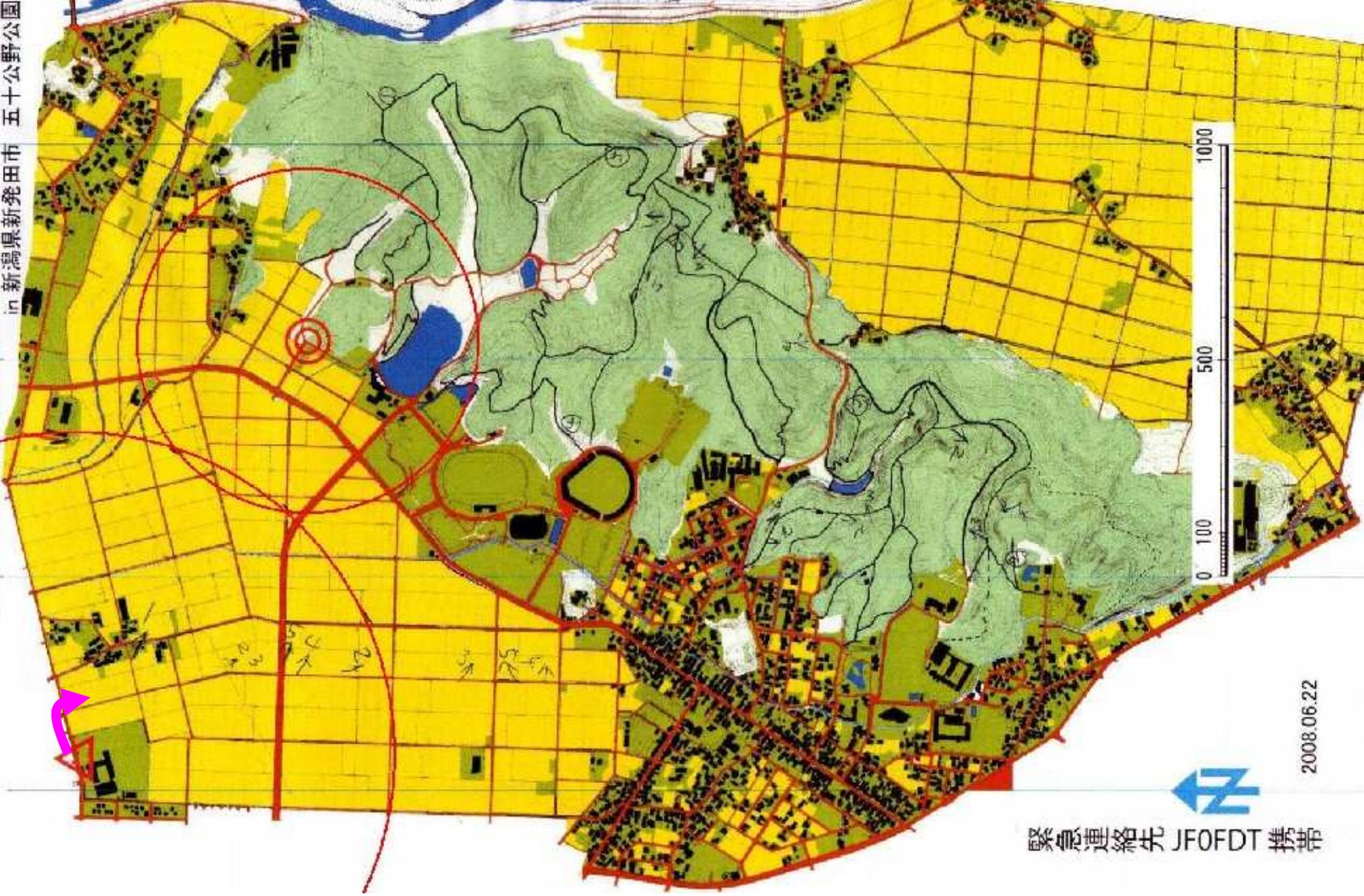
①スタート地点での地図読み
山間部がメイントレインと判断。ゴールは北部なので、まず田園地帯(電線なし)をTX配置を確かめながらまっすぐ南下し、山間部を北上するルートに決定。南部の住宅地は電線が多いので鬼門。



鬼門

②探索開始地点

同時スタートの小倉さんも同じ考えのようで、田園コースをまっしぐら。見る見るうちにはるかかなたへ。



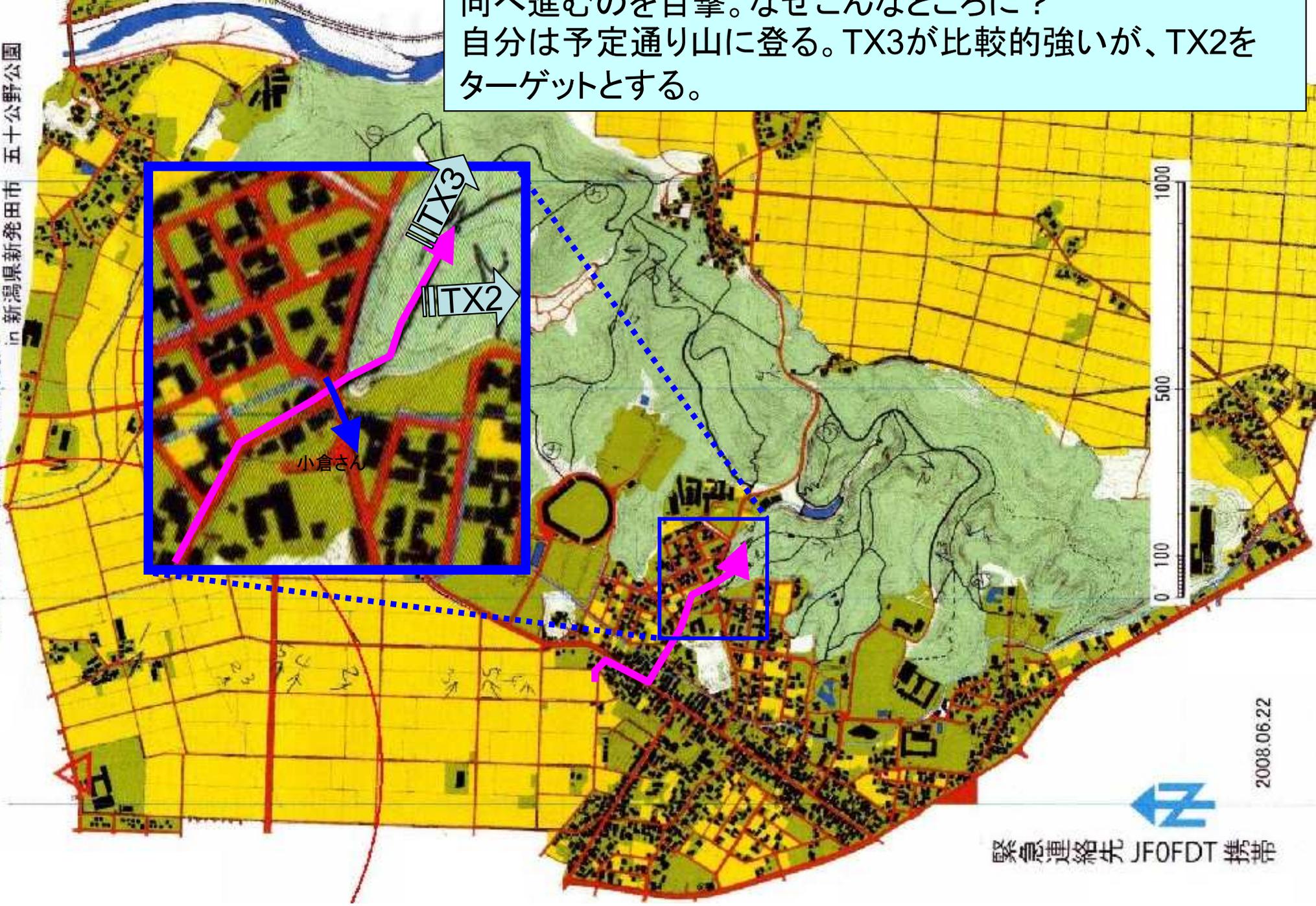
③ 田園地帯

TX配置は北からTX1、TX5、TX4、TX3、TX2の順。TX4は野球場方向。TX2が最も遠くだが、いくら今回TXが強力とはいえ、通常設置距離をはるかに越えるとは限らない。住宅地(電線地帯)もあまり通りたくないなので、少し手前で山間部に入ることにした。



④神社の階段

山に上がる直前で小倉さんが山にあがらず住宅地を南方向へ進むのを目撃。なぜこんなところに？
自分は予定通り山に登る。TX3が比較的強いが、TX2をターゲットとする。



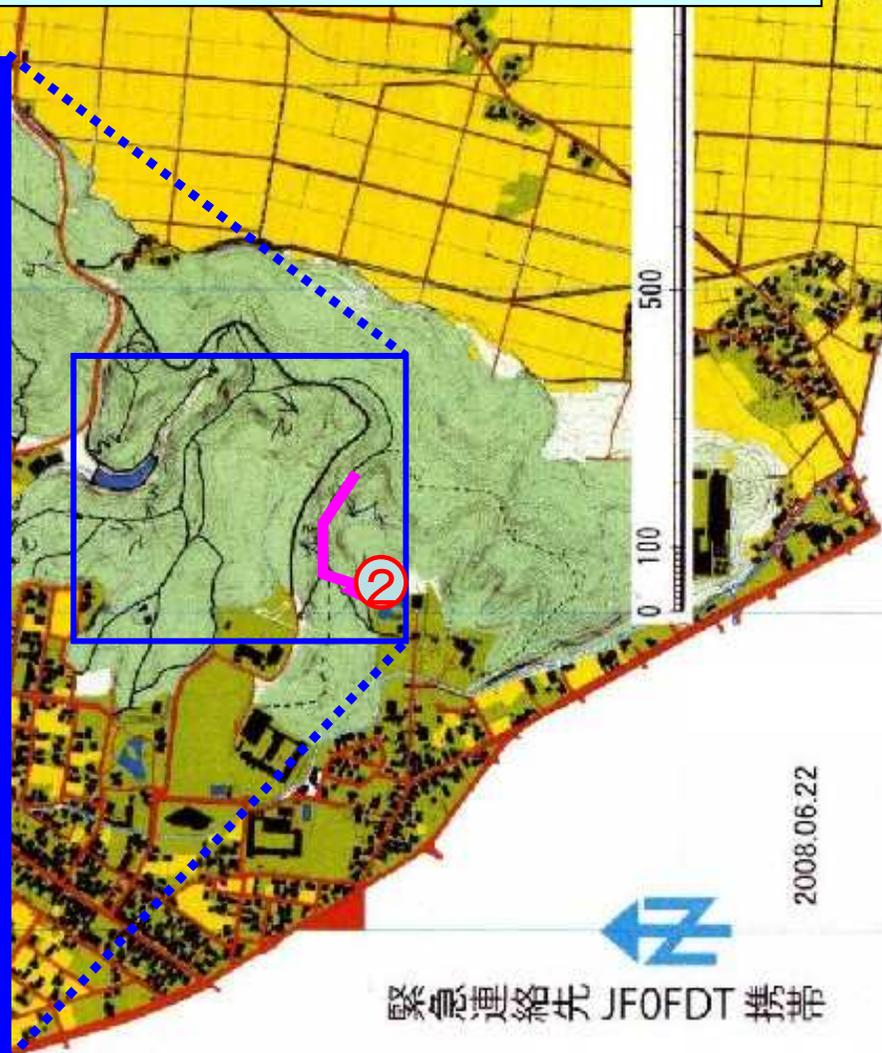
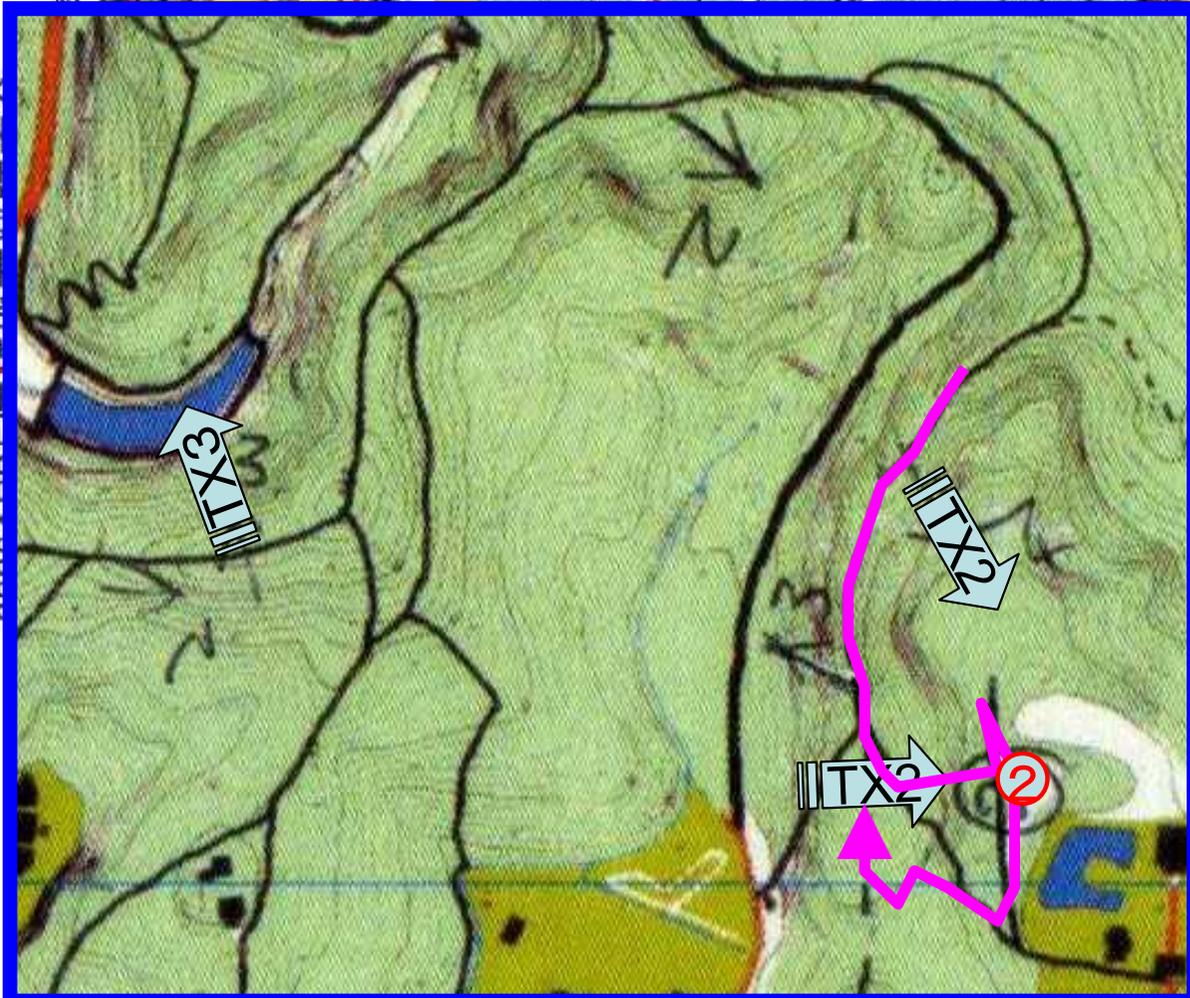
⑤尾根道

TX2はAエリアと判断。細い道の入り口は見つからずそのまま尾根道を進む。高くなったところで田中さんが休憩中。そのまま進むと清水さんとすれ違う。巡航状態の様子からしてまだまだTX2は先のような。



⑥TX2

下方向に下りたいが、下る道が無い。TX2が鳴く。この道の真下だ。意を決して笹藪を降りていく。こんなところを降りて本当に大丈夫なのだろうかと不安になったところで下道が見えてきて、反対側にフラッグが見えた。TX2ゲット。上の尾根道に戻ろうと、奥に進んでみるが上に登れそうに無い。さっきのところを登るしかないのかと戻り、もう少し行くと登り階段があった。なあんだ。1個目のTXで45分使ってしまった。一番遠いTXだから仕方ないかと自分を慰めた。

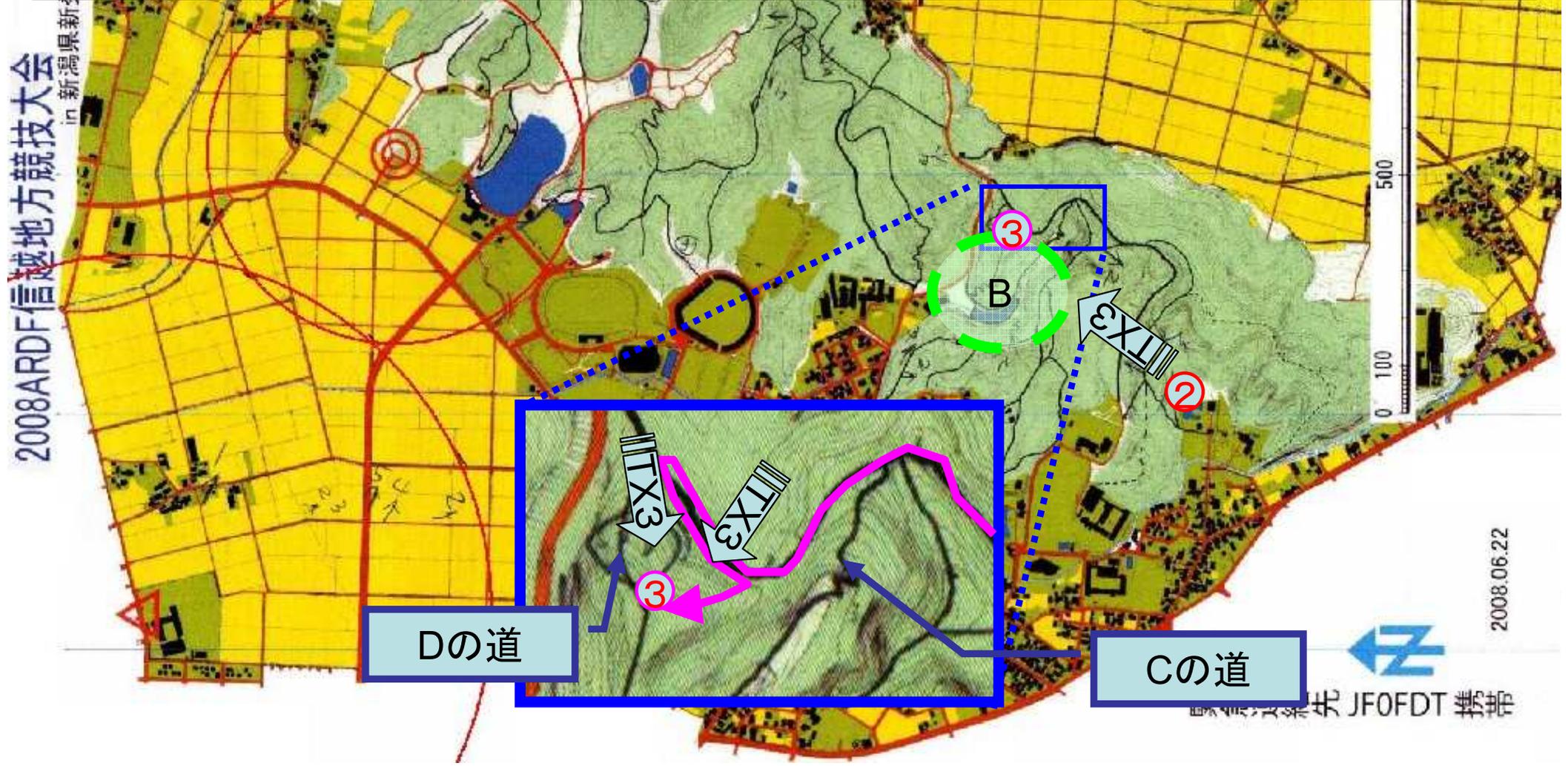


2008.06.22

緊急連絡先 JF0FDT 携帯

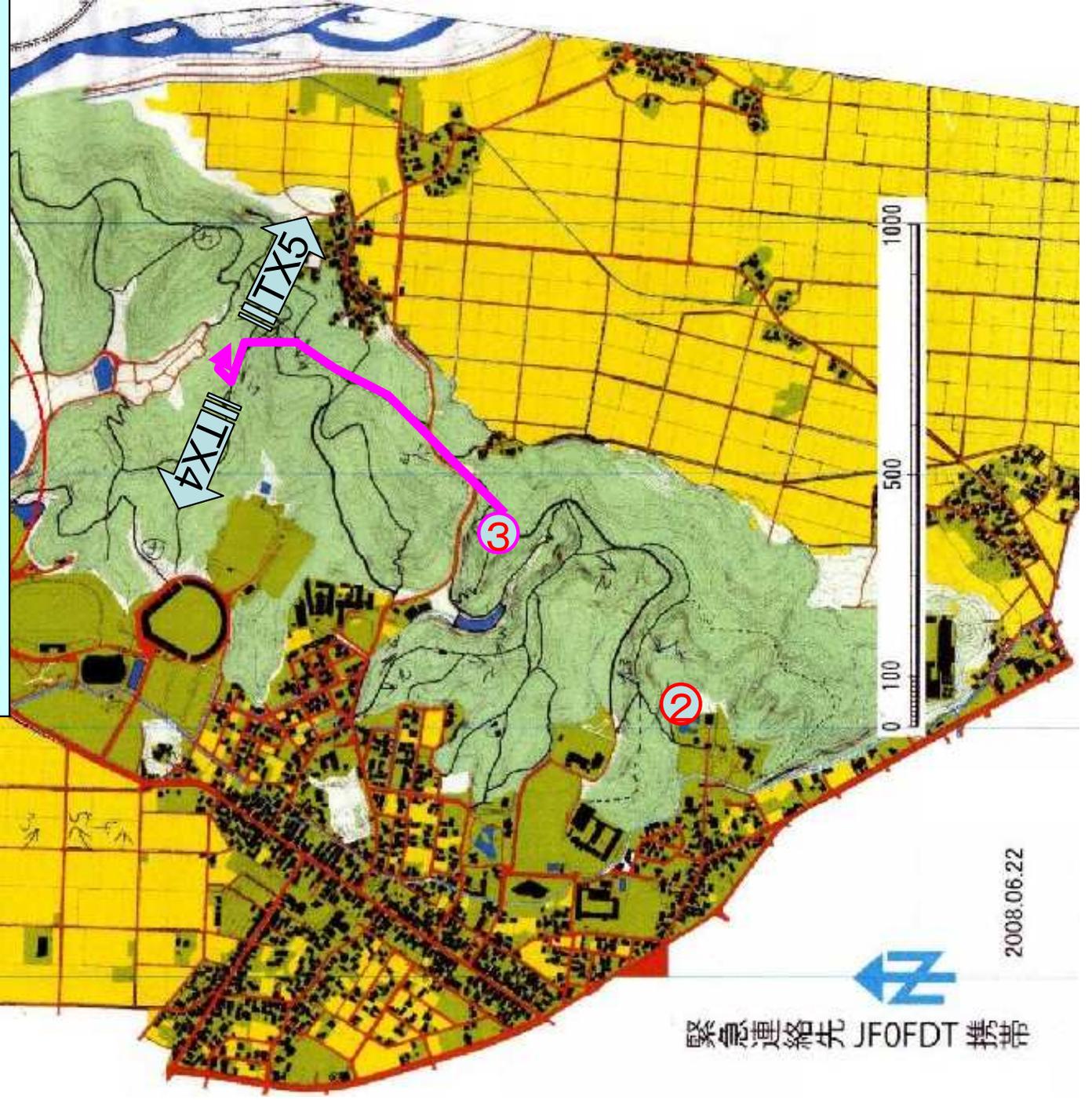
⑦TX3

TX3はBの池付近と推定。ひたすら尾根道に戻る。問題はCの道を下るか、Dの道に登るかの判断。右カーブに差し掛かったところで地図に無い上り口を発見、さらに進んだところでTX3が鳴く。Dの上り口に向かおうと走りながら方探。次第に後ろ方向に変わってくる。逆だ。カーブ方向に戻りながら方探すると次第に道と直角方向に。この山の上にあることが確実。カーブのところに戻り、山に登る。すぐ近くにあるはずなので、キョロキョロして登る。小倉さんが後ろから走ってきたので道を空ける。追い越した小倉さんは、前方5m先を突然右に入りすぐ出てきた。やっぱりあったか。TX3ゲット。



⑧TX4orTX5?

道を進んでいくと道なき道となり、地図上の正確な位置がわからなくなった。かつて道であったと思われるところを進んでいくと、普通の山道に出た。TX4が鳴く。道なりに下っていく方向だ。次にTX5が鳴く。TX5の方が強い。しかもTX4までは距離がありそう。TX5を先にとったほうがよいかもと思ひ引き返す。勢いよくTX4方向に走っていく小倉さんとすれ違う。TX5をゲットしてきたのか？近くにあるのかな？



⑨高台

高台に登ったところで、東南側の山道を田中さんが登ってくる。お疲れのようだ。自分はもうすぐTX5の時刻なのでダッシュに備えしばし休憩。TX5が鳴く。東側だ。東側の山道を駆け下りる。田中さんと黒木さんが道を空けてくれた。感謝。するとお墓の上で急に視界が開けた。ほぼ正面。道脇に絶好の方探ポイントがあったのでそこで、じっくり方探。Aポイントと推定。田中さんと黒木さんが追い越して降りていく。絶好のポイントを占有してしまっていて申し訳ない。降りてAポイントへ向かう。

絶好ポイント

高台

お墓

田中さん

A

③

②

0 100 500

2008.06.22



⑩TX5

Aポイントで目視探索するがない。もう一つ山越えか。がっかりしながら坂を登る。山の裏側へ入る入り口を見つけたところで、耳を劈くようなTX5の信号。あわててATTを絞り、方探。突入してTX5ゲット。

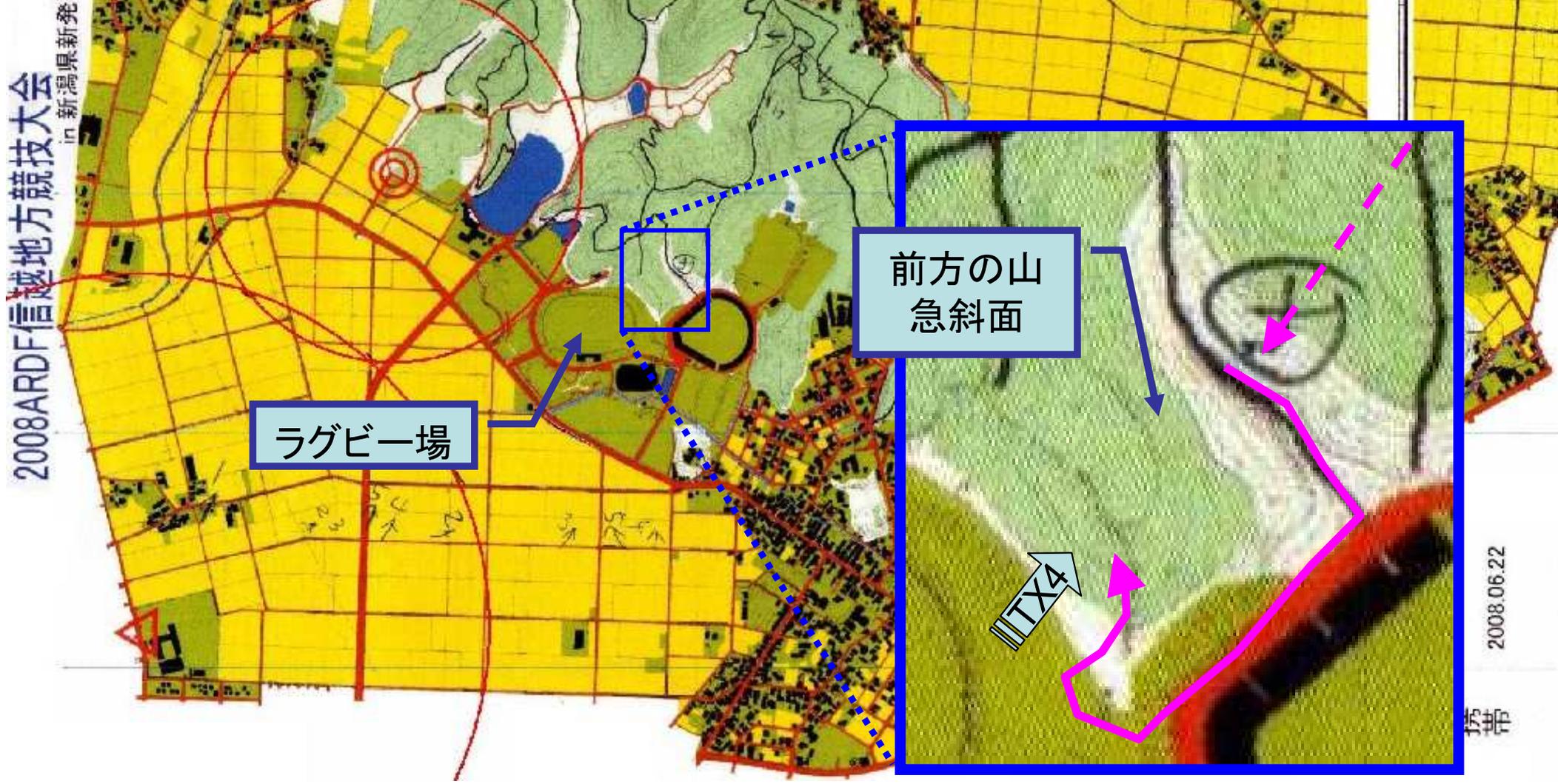
⑪TX4へ向かう

お墓の坂を登り、TX4へと向かう。完全に道なり方向だ。右カーブ分岐のあたりだろうか。右カーブすると小倉さんが見えた。今日はよく見かける。調子が悪いのだろうか。自分は分岐らしきところを見つけ降りていく。道だかなんだかわからないところを進む。TX4が鳴く。やはり真正面。急いで進むとそこは谷。木々は伐採されて谷間が見える。谷にあればよいが、なければ前方の山の上だ。あの山を登ることになったらいやだなと思いつつ、谷付近にないかキョロキョロしながら谷に下る。



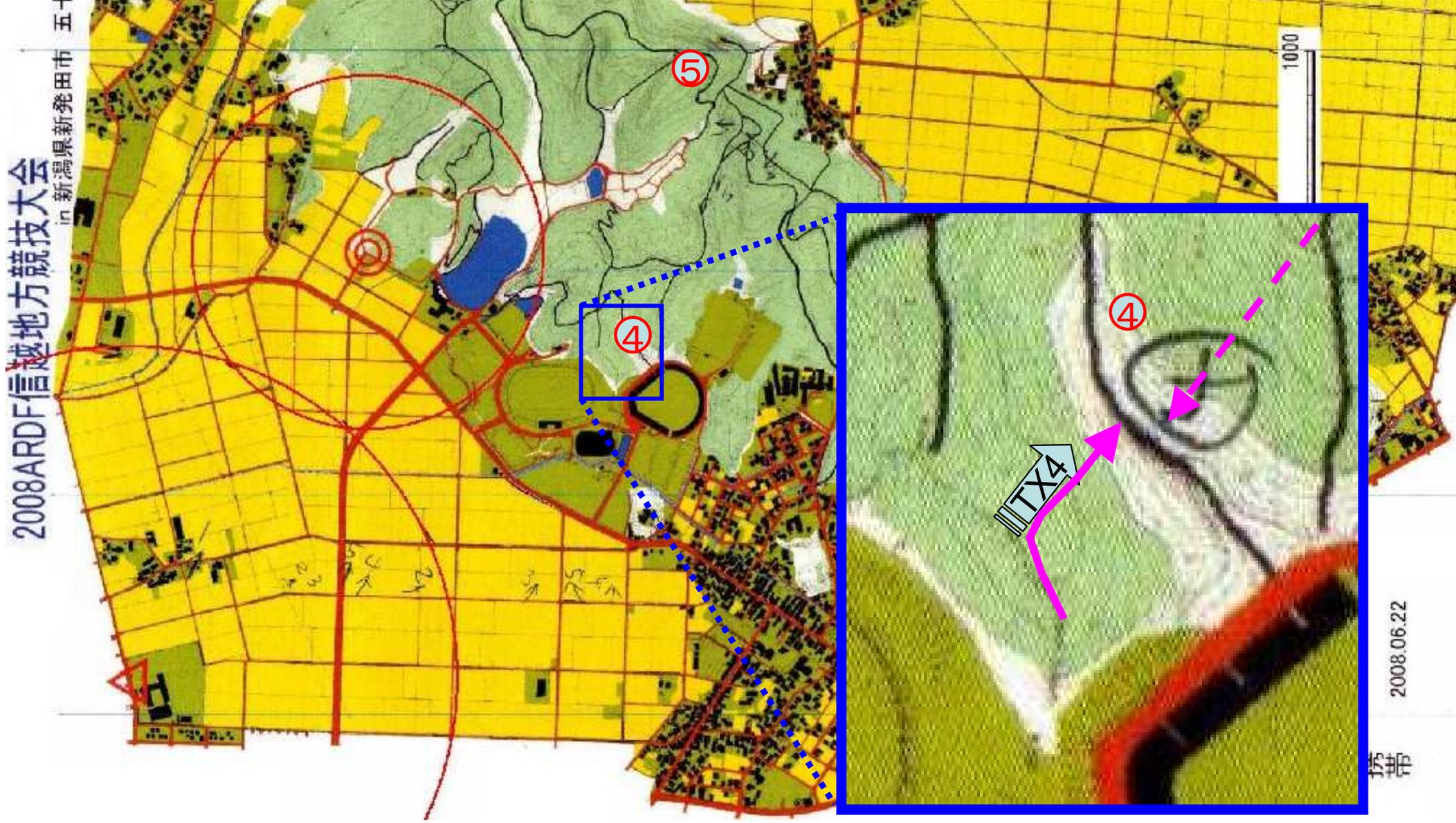
⑫ラグビー場の上

谷には無いし、正面の山(急斜面)を登るのも大変そうなので、ぐるりと回ることにした。山の反対側にある可能性もあるからだ。反対側に回るとそこはラグビー場。そこでTX4が鳴く。今回避した山の頂上方向だ。しかし登れそうなどころはない。少しでも斜面がゆるりところを見つけ、登る。なぜか柵がある。大昔そこに道があったのかもしれないが、今はその痕跡も無い笹藪。半袖はつらい。笹を掻き分けながら登っているときに確信したことが一つ。「これは正規ルートではない。」尾根まで登ったところに道があることを信じて登る。



⑬TX4

TX4が鳴く。進行方向と直角右方向だ。でも急すぎて足はすべるし、片手では登れない。なんとか登れる場所を見つけ、登って反対側へ降りる。下りは比較的楽だった。するとなんか見覚えのある場所。そう、さっき降りた谷だ。左を見るとアンテナらしきものがある。確かにそこはさっき降りてきたところからは死角になっている。近づくともさしくTX。TX4ゲット。





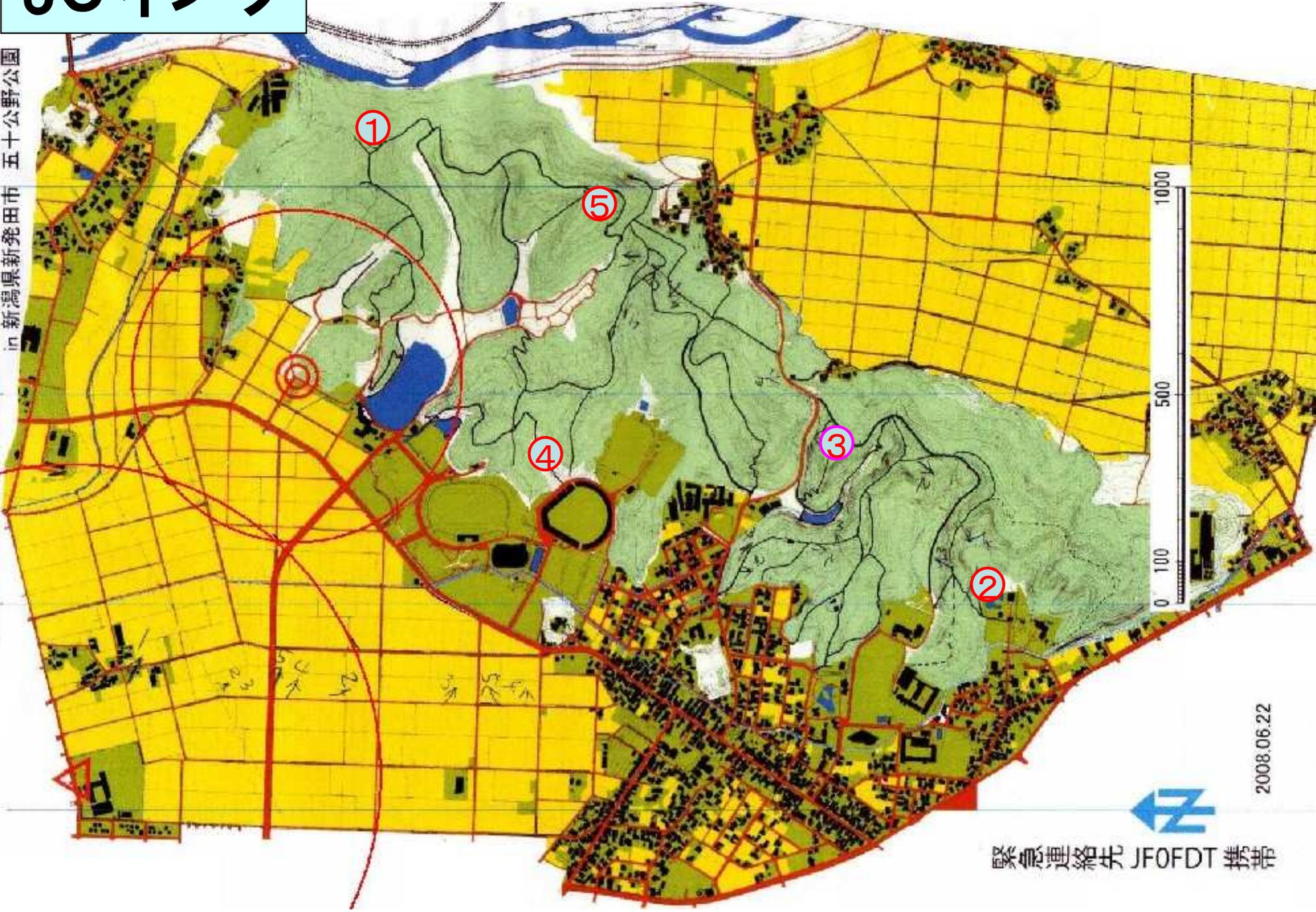
⑭GOALへ向かう。

時計を見るとラスト30分。お帰りの時間だ。今日を対象外のTX5をゲットしたが対象のTX1を落とした。残念だ。今回は(も)だらだら歩きすぎたのか？ 集合場所に来てもゴールがない。地図をよく見ると駐車場の先だ。駐車場にくるとたくさんの人がゴール後のくつろぎタイムを楽しんでいる中、Hさんが「ゴールがない。どこだ？」と騒いでいる。ビーコンのところまで来た。今日は比較的体が楽なので、久々にゴールラインを走って通過した。

おわり

2008ARDF信越地方競技大会

in 新潟県新発田市 五十公野公園



緊急連絡先 JFOFDT 携帯

2008.06.22

反省

今回は、140分あったのに5つゲットできなかった。スタート前に、早川さんにハツパをかけられていた。自分としては大きな失敗と言えばTX4だが、そんなに致命的だったのだろうか。SI結果が発表されたら、時間配分の観点で反省してみたい。もしかしたら単純にスピードが遅いだけなのかもしれない。

反省と言えば、最初の田園地帯での方探をもっとまじめにやるべきであった。本テレビンでは、かなり方位が素直に出ていた。実際、至近距離で鳴かせてGETしたのは4つのうちTX5のみで、他の3つは方探の結果でわかった位置に進む最中に目視で見つけたものである。

もう一つ、距離の見誤りがあった。相当強い可能性が高い(実際には設置状況によって強弱は大きく変化するので、一概に強いと断言はできない)ことはわかっていながら、結構近いと見誤ってしまった。

今回はルートどりも結果的には難しかった。TX4のみが一筆書きできないからだ。大会終了後に、主催者の佐藤先生が、TX4→2→3→5→1が正解と発表があったが、TXの位置がわかっていない段階でどうしたらそういう判断ができるであろうか。TX4のみ(TX2は不明)が低い位置(山の手前)であることがわかれば...。田園地帯での方探をしっかりとやって、しかもそれを自分自身で信じていることができれば、もしかしたら....